

# 「もしも」の時も安心。

DMM住宅用太陽光発電システム<DMM.make solar>や燃料電池（創エネ）と蓄電システム（蓄エネ）が連系すればエネルギーの自給自足も夢ではありません。

「DMM.make smart」が快適なエネルギー生活に導きます。



## DMM.make smart

### エネルギーの自給自足

DMM住宅用太陽光発電システムや燃料電池（創エネ）と蓄電システム（蓄エネ）が連系すればエネルギーの自給自足も夢ではありません。「DMM.make smart」が快適なエネルギー生活に導きます。



DMM.make solar

+



DMM.make smart

+



燃料電池（エネファーム）



## 9.8kWhの大容量。家庭で使う1日の電気使用量をまかなえるから安心！

「DMM.make smart」は9.8kWhの大容量。平均的な家庭の1日の消費電力をまかなえます。また、通常時も停電時も最大3kVAの高出力なので、一度に多くの電化製品を使用できます。さらに、蓄電池がほぼ空の状態でも、約3時間※1で満充電にすることができるので安心して使用できます。

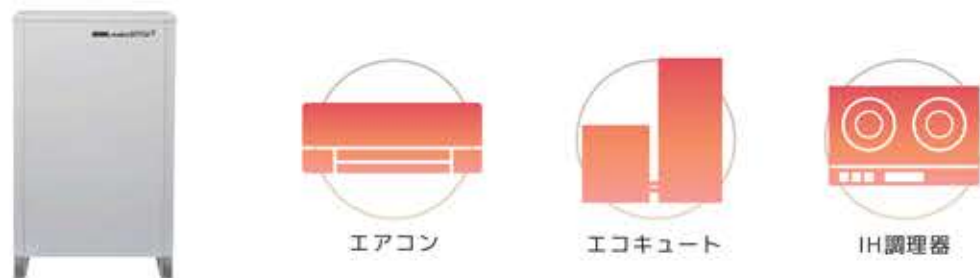
大容量だから停電時でもこれだけ使えます。

-  LED電球 (約30W) > 約278時間点灯
-  32型液晶TV (約100W) > 約83時間視聴可能
-  電子レンジ (約1000W) > 約8時間稼動
-  冷蔵庫 (約50W) > 約167時間稼動

※1 使用環境によっては充電に3時間以上かかる場合もあります。

## 3kVAの高出力！エアコンやIH調理器などの200V機器も使えるので安心！

「DMM.make smart」は3kVAの高出力。エアコンやIH調理器、エコキュートやエネファーム（燃料電池）などの200V機器にも対応※2しているため、オール電化のご家庭も、エネルギーの自給自足をめざすご家庭も安心して使用できます。無停電電源装置ではありません。※3

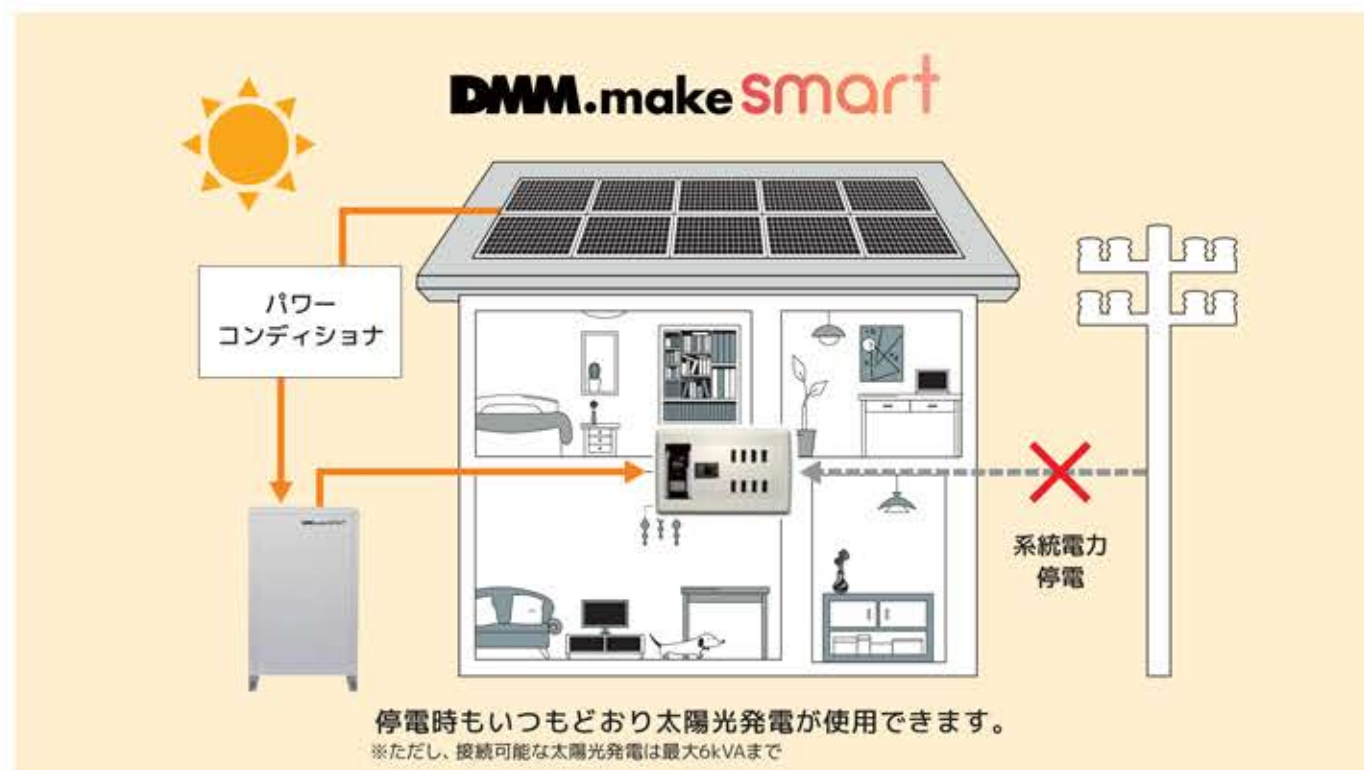
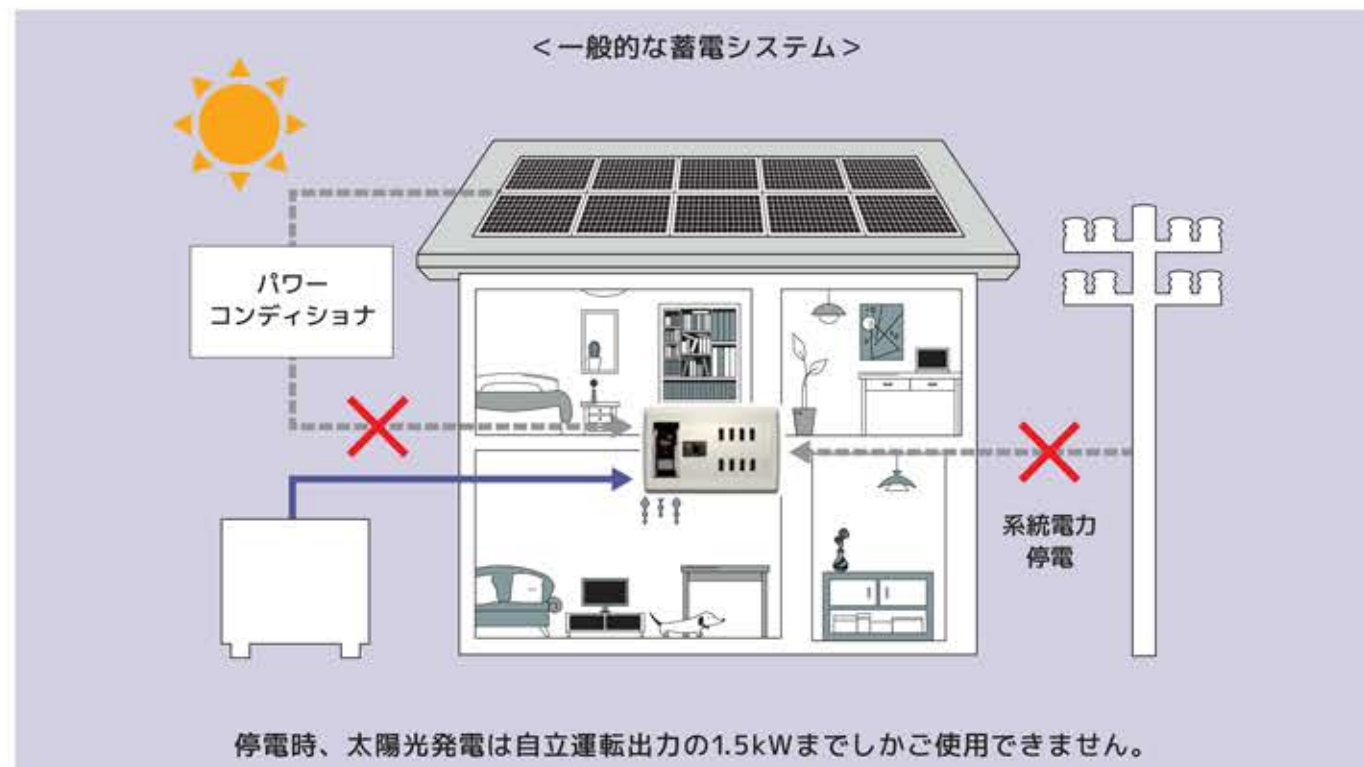


※2 機器によっては稼働できないものもあります。

※3 停電時には、一度お家の電気は切れます。家電製品の再設定などは必要になりますので、ご注意ください。

## 停電時も、いつもどおり太陽光発電が使えるから安心！

一般的な蓄電システムの場合、停電のときは系統からの電力供給が止まるため、太陽光発電は自立出力1.5kWまでしか出力できないようになっています。しかし、「DMM.make smart」は、独自のシステム制御により通常時と同様に太陽光発電を稼働させ、発電した電力を家庭内で使用することができます。また、余剰電力がある場合は、最大3kVAまで「DMM.make smart」に蓄電することができるので、夜になっても安心して過ごすことができます。





## 停電時もエアコンやIH調理器を使えるので安心！

「DMM.make smart」は、停電時も200Vの出力が可能です。停電になっても、エアコンやIH調理器、エコキュートやエネファームなどの200V機器も使用できるので、いつもと変わらず快適に過ごすことができます。また、就寝しているときに停電になっても、「DMM.make smart」は停電を検知し、自動的に蓄電池にためた電気の放電を開始するので安心です。\*

<一般的な蓄電システム>



**DMM.make smart**



※実際の電気の利用状況・設置状況等により、蓄電システムが利用できない場合がございます。

## 停電時も家中のどの照明もコンセントも使えるので安心！

定置型蓄電システムは、分電盤への接続の仕方によって特定負荷型と全負荷型に分けることができます。特定負荷型は、分電盤の中で設置時にあらかじめ選択したエリアだけをカバーするものです。停電した時のことを想定して、電気を供給するエリアを選択することが重要になります。一方、全負荷型の場合は、家全体をカバーできるため、設置時にエリアを選択する必要はありませんので、もしもの備えとしては、全負荷型の方が安心です。

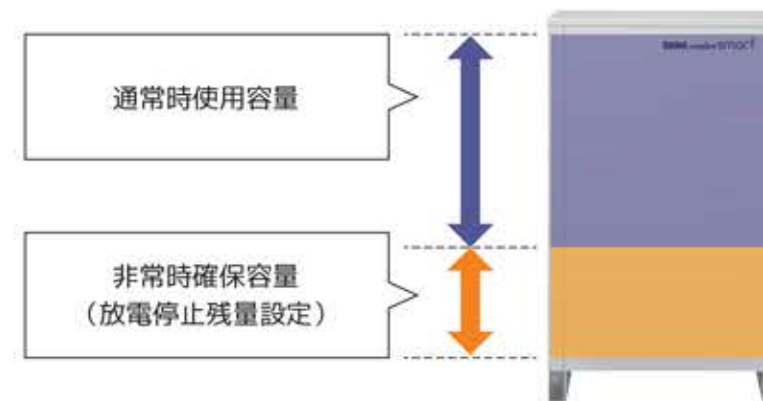
<停電時>



全負荷型の停電時にご使用可能な電力は、蓄電システムの放電電力と太陽光発電で発電した電力になります。太陽光発電は天候により変動するため、6kWの太陽光発電の設備の場合、半分の発電電力として、全負荷型の負荷は6kVA以内を目安にご使用ください。

## 蓄電池の電気を使い切る心配がないので安心！

「DMM.make smart」は、蓄電池にためた電気を使い切ることをしないよう、残量を可能な範囲（0～90%）で設定することができます。蓄電池にためた電気が少ないときに停電になることが心配な方は多めに残量を設定することで安心して使用できます。



▶ 蓄電容量が残量設定に達したら蓄電システムは放電を停止します。

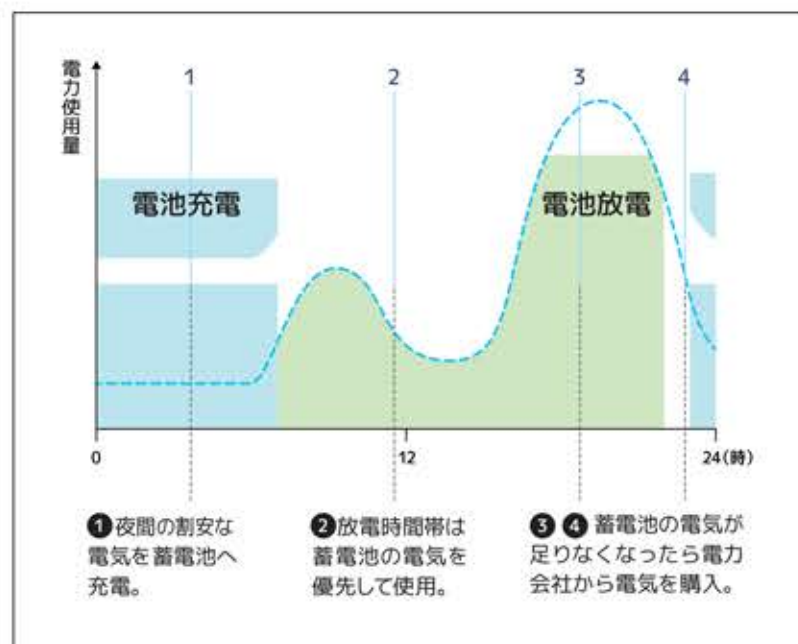
▶ 残量設定を下げると放電が始まり、蓄電池の電気を利用することができます。

※残量設定範囲は、0%から90%の範囲で設定可能です。 ※モニターにはシステム維持用の電力を除いた容量を0～100%で表示しています。 ※出荷時の連系時放電停止残量設定値は10%です。 ※放電停止残量は連系時と停電時で個別に設定できます。(停電時の設定は連系時の設定より大きく設定することはできません)



深夜の電気を自動的にためて※1 電気料金の高い昼間に使います。

電気料金プランを夜間電力の安いプランに変更し、「DMM.make smart」の設置時に充電開始時刻、終了時刻を設定することで、毎日、自動的に割安な夜間の電気を充電します。昼間の時間帯は、「DMM.make smart」にためた電気を優先的に使うためご家庭の電気料金を削減することができます。また、ためた電力が足りなくなった場合は昼間の電気を購入し使用します。※2



※1 充電には使用環境の影響を受けるため、お客様の契約する電力プラン等により、割安な電力時間帯内での充電が完了しない場合があります。  
 ※2 実際の電気の利用状況・契約プラン等により、電気代を削減できない場合があります。  
 ※3 2017年4月現在。

夜間電力の安い電気料金プラン (東京電力の場合)

電力消費が少ない夜間の電気は安く設定されています。

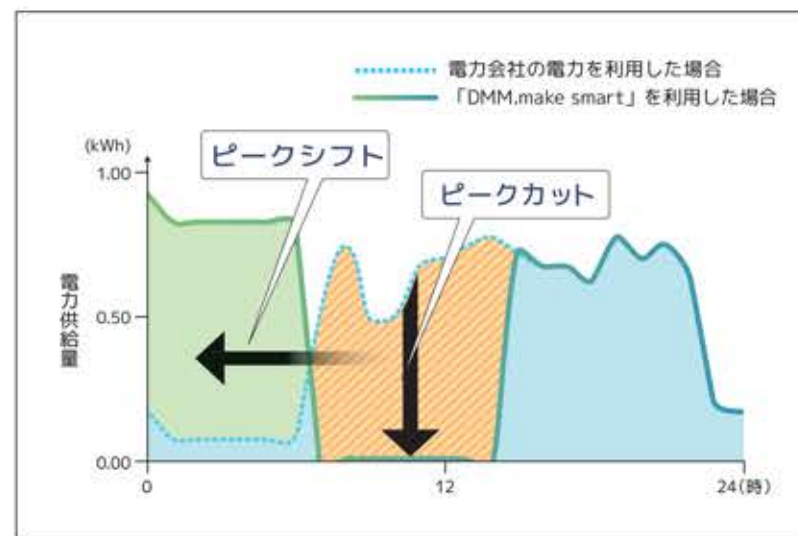
スタンダードプラン※3 (電力量料金)	
最初の300kWhまで	23.40円/1kWhあたり
300kWh超過	30.02円/1kWhあたり

夜トクプラン (夜トク8)※2 (電力量料金)	
	20.78円/1kWhあたり

環境にやさしい

ピーク時の電力使用を減らすことで電力供給の負担を軽減します。

電力需要ピーク時に夜間にためた電気を使用することで、電力会社からの電力供給量を減らすことができるので電力のピークカット・ピークシフトに貢献します。



電気使用量をリアルタイムで表示します。

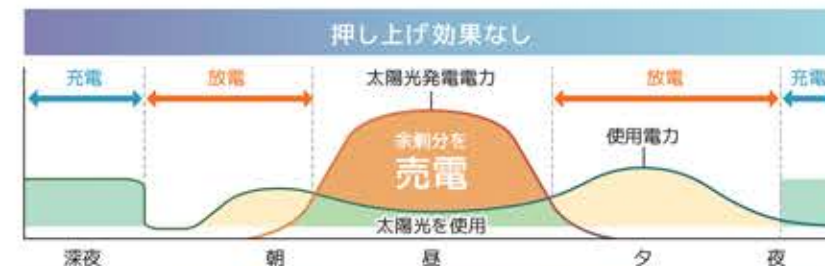
いま使っている電気使用量がお子様でも分かりやすくアイコンで表示されるから、家族みんなで楽しく節電意識を高めることができます。



自家使用優先タイプは、太陽光発電の余剰電力を売電することも、蓄電することも可能。また、売電優先タイプは、太陽光発電によるすべての発電量を売電することができます (負荷が3kVA以内かつ電池が放電可能な時)。太陽光発電や燃料電池の併設に特殊な工事を必要としません。

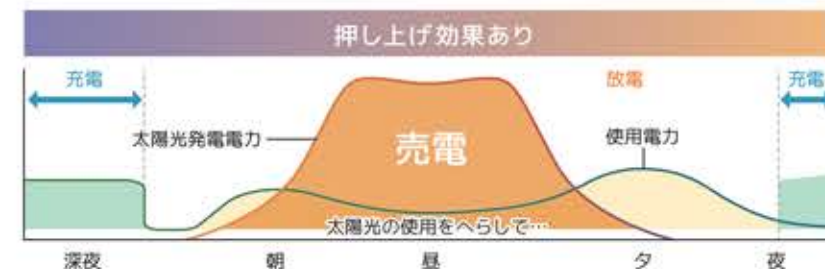
自家使用優先タイプ

昼間に使用する電気は、太陽光でまかなうから、蓄電池にためた電気を有効活用できます。



売電優先タイプ

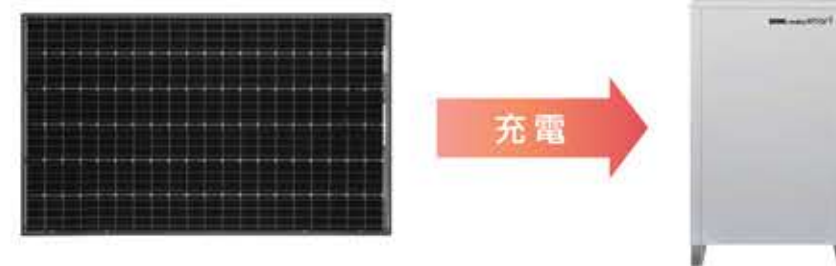
昼間に使用する電気は、蓄電池にためた電気 (3kVA以内) でまかない、その分、太陽光発電の売電を増やせます。



	自家使用優先タイプ	売電優先タイプ	内容
ピークシフトモード	○	○	1 負荷に追従し蓄電池から放電 (放電時間設定と組み合わせ) 2 太陽光発電余剰電力の売電/充電選択が可能
ピークカットモード	○	○	ピークカット電力の設定値までに余裕がある場合充電も行います
バックアップモード	○	○	停電に備え満充電付近で待機 (停電時のみ出力)
売電モード	×	○	1 太陽光発電設備及びエネファーム併設の場合、太陽光発電電力を全て売電 2 太陽光発電余剰電力の売電/充電選択が可能
停電モード	○	○	系統が停電時、自動で自立運転動作

「太陽光余剰電力充電設定」を搭載

太陽光で発電し家庭で使わない余った電気 (余剰電力) を蓄電することができます。昼間は太陽光で発電した電気を使い、太陽光の発電量が少なかったり発電しない時には (曇り時、夜間など) 蓄電池にためた電力をつかいます。





電気の利用状況をリアルタイムで表示する「エネルギーモニター」



- A 家庭で使っている電力量を表示します。
- B 電力会社に電気を売っている時は売電量を、買っている時は買電量を表示します。
- C 太陽光発電の発電量を表示します。※1
- D エネファームの発電量を表示します。※2

※1 太陽光発電を設置している場合のみ ※2 エネファームを設置している場合のみ

**放電中** 蓄電池にためた電気を使っているとき。



蓄電池にたまっている電気の残量を表示します



**充電中** 蓄電池に電気をためているとき。

誰でも簡単に操作できるタッチパネル方式を採用

**「バックアップモード」の設定**

**「太陽光余剰電力充電」の設定**

**エラー発生時**

**停電発生時**

※モニター画面はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。

工事の流れ

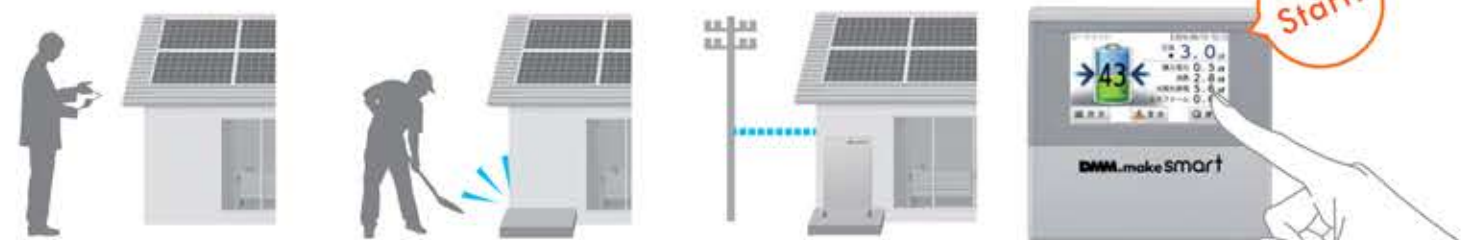
- 現地調査
- 基礎工事
- 系統連系
- 稼働開始

まず始めに、専門のスタッフが伺います。「工事が可能かどうか」「設置場所をどこにするか」など事前の確認をします。

最初に基礎を打って地盤を強化。その後、蓄電システムを設置。

売電のために、電力会社との連系を行います。各種の設定は、専門のスタッフが行います。

動き始めたら、面倒な操作は不要です。後は自動でエネルギーを効率的に使えます。



※1 設置状況により工事日数は異なりますので、詳しくは販売店・施工店にお問い合わせください。

10年保証だから安心

商品の保証について

**DMM.make smart**

安心の  
**10年保証**

蓄電システムおよびエネルギーモニター10年保証

取扱説明書等の記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に蓄電システム本体およびエネルギーモニターに故障が発生した場合、保証書の記載内容に伴い無償で修理・交換を行います。保証期間は、お引き渡し日より10年間です。

電池容量10年保証

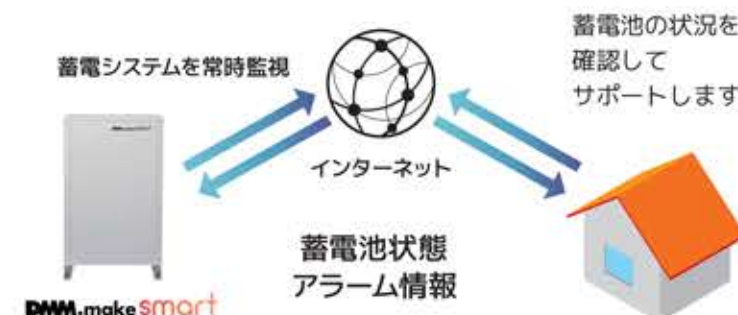
蓄電池の充電可能容量が60%を下回った場合は、無償修理（お引き渡し日より10年間）します。

見守りサービスで稼働状況を見てくれるので安心

インターネット環境のあるお客さまに対しては、インターネット回線を利用して、「DMM.make smart」の見守りサービスを行います。

インターネット回線を利用し、「安心見守りサービス」

インターネット環境のあるお客さまに対しては、インターネット回線を利用して、「DMM.make smart」の見守りサービスを行います。



# 寸法

- 蓄電システム本体(脚部含む)

高さ：1145 mm

幅：761.6 mm

奥行：440 mm

重量：約195 kg

- エネルギーモニタ

高さ：150 mm

幅：155 mm

奥行：34 mm

重量：約500 g

